

限りなく可能性に挑戦し続ける、新しい空間・生活スタイルのトータル住空間創造提案企業

1948年創業以来、時代の流れに合わせ業態を変え、現在では「トータル空間創造企業」として、住宅や医療・介護施設、公共施設等多様な空間を構成する木質系製品の製造を行っている。高度な接着技術、品質へのこだわり、商品化ノウハウ及び技術で、「家具の町大川」に本社をおき、その地の利を活かし事業を営んでいる。デザイン性・機能性・安全性に優れた新しい空間・生活スタイルの創造、提案と、工場システムの自動化による高い生産性で、お客様に多くの付加価値を提供している。

● 所在地 福岡県大川市向島1703
● 電話/FAX 0944-87-6688/0944-87-6685
● URL <https://www.ishimok.co.jp/>
● 代表者 代表取締役社長 石井泰彦

● 設立 1948年
● 資本金 40,000千円
● 従業員数 165人



生産性向上

低コスト・低価格を実現した革新的な塗装鏡面技術で事業拡大

キッチン等の建材に使用される塗装鏡面の革新的量産技術を開発し、従来に比べ、工程数を1/10に削減、かつ高耐久性を実現。この技術を用いた鏡面製品は、低コスト、高意匠、長寿命であり、自社の競争優位性の確立、建材大手企業への提供、更にアジアを中心とした海外への販路拡大も図っている。この鏡面製品は高い競争優位性を持つため、優先して地場企業へ供給し、競争力を持った製品を市場へ投入することで、家具の町大川の再興に貢献したいと考えている。また、この技術は、革新性及び優位性が評価され、第7回ものづくり日本大賞伝統技術応用部門「特別賞」を受賞した。



第7回ものづくり日本大賞特別賞受賞

高品質、スピードを追求し、業界初の工場生産システムも開発

同社では、生産の品質とスピードを追求し、自社グループの(株)マシンテックが設備メーカーと共に開発した設備、また自社で開発したCAD/CAMを用いた生産システムにより「製品在庫ゼロ、小ロット多品種生産」を実現。近年は将来的な自動化を見据え、全てのパネルにQRコードを貼りつけ、各工程の各設備がこれを自動で読取り、自動で加工するライン構築により、省人化、生産性向上、生産リードタイムの大幅短縮を可能とした。



自社で開発した自動加工設備

女性みの開発プロジェクトチームで、高付加価値商品を開発

同社では、暮らしを快適・便利にする住宅設備をトータルで提供する中で、女性目線、主婦目線での商品開発にも力を入れている。以前は製造現場の女性従業員比率は10%以下だったが、直近は30%以上を達成している。さらに外国人実習生も積極的に採用する等、スタッフの多様化や職場の雰囲気向上を図っている。また、女性みの住宅向け商品の開発プロジェクトチームを立ち上げた結果、高付加価値商品の開発につながり、売上の増加、女性社員のモチベーション向上に繋がる事例も出てきている。



女性だけのチームによる商品開発

ものづくり